

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
220322040	臨床医学 I Clinical Medicine Part I	服部悟	✓	専門	2	必修	2後期

**科目の概要**

管理栄養士の主な業務の一つとして傷病者に対する栄養の指導がある。DP2にあるように、医療・介護をはじめとした様々な領域における栄養管理をするために、加齢・疾患に伴う変化、診断、治療について総論を学ぶ。また、管理栄養士にとって重要な疾患（栄養障害と代謝疾患、神経・精神疾患）の疾病概念、成因、病態、診断、治療などを理解する。この授業では、栄養士に必要な科学的根拠に基づいて判断する能力と自己学習能力とを身に着ける。併せて、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を習得して、職場と地域の人々と協働して課題を解決していくことができ、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる力を育成することを目的とする。

学修内容	到達目標
① 主要疾患の疾病概念と成因（原因）を理解する。 ② 主要疾患の病態（自覚症状、他覚症状等）と診断を理解する。 ③ 主要疾患の治療方法を、栄養に重点を置いて理解する。	① 主要疾患の疾病概念と成因（原因）を説明できる。 ② 主要疾患の病態（自覚症状、他覚症状等）と診断を説明できる。 ③ 主要疾患の治療方法を、栄養に重点を置いて説明できるとともに知識を活用してより良い方法を提案できる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	関連科目である解剖学や生理学、生化学について、事前学習（復習）をする。
	働きかけ力	
	実行力	主要疾患（約200）の疾患名と疾病概念の記憶に取り組むことができる。予習と復習で、能率よく自己学習を進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	疾患を学習することで、傷病者に対する栄養指導課題を見つけ出すことができる。
	計画力	
	創造力	インターネットなどで流布されている医療情報を確認し、信頼性を自分で判断できる。
チームで働く力	発信力	教員からの質問に、はっきりと大きな声で答えることができる。与えられた課題を、わかりやすい内容にまとめて提出できる。
	傾聴力	講義内容や相手の意見を丁寧に聞き取り、自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、私語、居眠りなど講義に支障をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。遠隔講義の時間割に従って、学修ができる。提出物の締切時間を守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：羽生大記・河手久弥編、臨床医学-人体の構造と機能及び疾病の成り立ち（南江堂）3,100円（＋税）  
 関連する資料および復習問題のプリントを適宜配布する。

**他科目との関連、資格との関連**

解剖生理学I・II、生化学I、および解剖生理学実習I・IIの学修を基盤として、臨床医学を学ぶ。臨床医学II・IIIに繋がる。また、専門実践実習の基礎となり、臨床栄養学I・IIとも関連する。  
 資格との関連：栄養士、管理栄養士、栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
①解剖学、生理学、生化学の知識は疾病を理解するうえでも必須である。それらを十分理解して授業に臨むとよい。 ②毎週の小テストが50%以下の正答率の場合は、すぐに復習を行うとよい。	①携帯電話の電源は切り、カバンにしまっておくこと。 ②テキストと配布したプリントは、毎時間持参する。 ③赤鉛筆または赤ボールペンを持参すること。 ④遠隔講義では、時間割や提出物の期限を守る。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	80	①	✓	主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等について理解し、栄養との関係を説明できる。 授業で学んだ内容の理解度を、客観式テストにより評価する。 知識の獲得：（疾患の病因・病態など）50%、 知識の活用：（疾患に伴う症状・検査所見・治療法など）30%、 知識の解決：（疾患に伴う生活への影響、栄養上の対処方法など）20% 以上の内容の筆記試験で60%以上の得点を合格とする。	
			②	✓		
			③	✓		
	平常評価	小テスト	10	①	✓	毎週の小テストは、授業中または終了時に、授業内容について客観式確認テストを行う。 以上により、主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等の基本的用語を理解できているか確認する。
				②	✓	
				③	✓	
		レポート	0	①		
				②		
				③		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
		②				
		③				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）自ら知識を深める姿勢・行動がみられること （実行力）自己の学修目標を設定してその達成に努力すること。 （課題発見力）傷病者に対する栄養指導課題を見つけ出すこと。 （計画力）予習・復習で能率的に自己学習ができること。 （創造力）インターネットなどで流布されている医療情報を確認し、信頼性を自分で判断できること。 （発信力）教員からの質問に、はっきりと大きな声で答えることができること。 （傾聴力）授業に集中し、内容を理解し、要点を記録できること。 （規律性）教室でのマナーを守り、質の高い学びの場にできる。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等について正しく理解し説明できること。 ②主要疾患の疾病者に対する栄養指導との関係を説明できること。 S（秀）＝①＋②、A（優）＝①または②	①主要疾患の疾病概念を説明できること。 ②主要疾患の成因、病態、治療等の基本的用語を記述でき説明できること。 B（良）＝①＋②、C（可）＝①

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○疾患とは 疾患の分類と管理栄養士の役割について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	疾患の分類と管理栄養士の役割について説明できる。	(予習) 自らの既往症や予防接種について確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	○加齢と疾患に伴う変化、および死について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	加齢と疾患に伴う変化、および死について説明できる。	(予習) テキスト第1章(加齢・疾患に伴う変化)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	○疾患診断の概要 問診と診察、バイタルサインについて理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	問診と診察、バイタルサインについて説明できる。	(予習) テキスト第2章A, B-1(問診と診察、バイタルサイン)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
4	○疾患診断の概要 主な全身症候および、その他の症候・病態について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	主な全身症候および、その他の症候・病態について説明できる。	(予習) テキスト第2章B-2, 3(全身症候、その他の症候・病態)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5	○疾患治療の概要 治療の種類と方法について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	治療の種類と方法について説明できる。	(予習) テキスト第3章(疾患治療の概要)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	○栄養障害と代謝疾患：栄養障害 飢餓、栄養失調症、悪液質、ビタミン欠乏症・過剰症、ミネラル欠乏症・過剰症の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	飢餓、栄養失調症、悪液質、ビタミン欠乏症・過剰症、ミネラル欠乏症・過剰症の病態・診断を説明できる。	(予習) テキスト第4章A, B(栄養障害)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
7	○栄養障害と代謝疾患：糖尿病1 2型糖尿病の成因・病態・診断について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	2型糖尿病の成因・病態・診断について説明できる。	(予習) テキスト第4章C-2-1-a, b(2型糖尿病の病態・症状・診断)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
8	○栄養障害と代謝疾患：糖尿病2 2型糖尿病の治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説(遠隔の場合はgoogle forms) ディスカッション 予習・復習テストと解説(google forms)	2型糖尿病の治療について説明できる。	(予習) テキスト第4章C-2-1-c(2型糖尿病の治療)を確認すること。 (復習) 復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○栄養障害と代謝疾患：糖尿病3 糖尿病の合併症の成因・病態について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	糖尿病性腎症、網膜症、急性糖尿病性失調の病態について説明できる。	（予習）テキスト4章C-2-1-a, b（2型糖尿病の病態・症状・診断）7章B-4（糖尿病性腎症）（糖尿病の合併症）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
10	○栄養障害と代謝疾患：糖尿病4 1型糖尿病の病態・症状・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	1型糖尿病の成因・病態について説明できる。	（予習）テキスト第4章C-2-2（1型糖尿病の病態・症状・診断・治療）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
11	○栄養障害と代謝疾患：肥満、メタボリックシンドローム、脂質異常症 肥満、メタボリックシンドローム、脂質異常症の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	肥満、メタボリックシンドローム、脂質異常症の病態・診断について説明できる。	（予習）テキスト第4章C-1, 3（肥満、メタボリックシンドローム、脂質異常症）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
12	○栄養障害と代謝疾患：高尿酸血症と痛風 高尿酸血症と痛風の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	高尿酸血症と痛風の成因・病態・診断を説明できる。	（予習）テキスト第4章C-4（高尿酸血症、痛風）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
13	○栄養障害と代謝疾患：先天性代謝異常 新生児マススクリーニング、先天性代謝異常の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	新生児マススクリーニングの意義、主な先天性代謝疾患（フェニルケトン尿症、メープルシロップ尿症、ホモシスチン尿症、ガラクトース血症）の成因・病態・治療を説明できる。	（予習）テキスト第4章D（先天性代謝異常）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
14	○神経・精神系：神経疾患 認知症、パーキンソン病・症候群の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	認知症、パーキンソン病・症候群の成因・病態・治療について説明できる。	（予習）テキスト第9章A, B（認知症、パーキンソン病・症候群）を確認すること。 （復習）復習テスト・学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
15	○神経・精神系：精神疾患 摂食障害とアルコール依存症の成因・病態・診断・治療について理解する。	講義 講義内容の確認テストと解説（遠隔の場合はgoogle forms） ディスカッション 予習・復習テストと解説（google forms）	神経性食欲不振症、神経性大食症とアルコール依存症の病態・診断・治療について説明できる。	（予習）テキスト第9章C（神経性食欲不振症、神経性大食症、アルコール依存症）を確認すること。 （復習）学期末テストに向け復習すること。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力